地域交通政策推進特別委員会

令和８年第３回定例会

庶務報告

１　一般

［都市整備部］

（１）小型車両活用デマンド交通事業の実証運行の中間評価について

（交通政策課長）

（２）新金線を活用した新たな交通システムの整備における検討状況について

（新交通推進担当課長）

庶務報告Ｎｏ．１
都　市　整　備　部
令和８年１０月２日

小型車両活用デマンド交通事業の実証運行の中間評価について

交通政策課

１　趣旨

区では、路線バスの運行休止により地域の交通利便性が特に低下した西亀有エリアにおける新たな交通手段として、令和７年10月から小型車両活用デマンド交通（事業呼称「かつライド」）の実証運行を行っている。

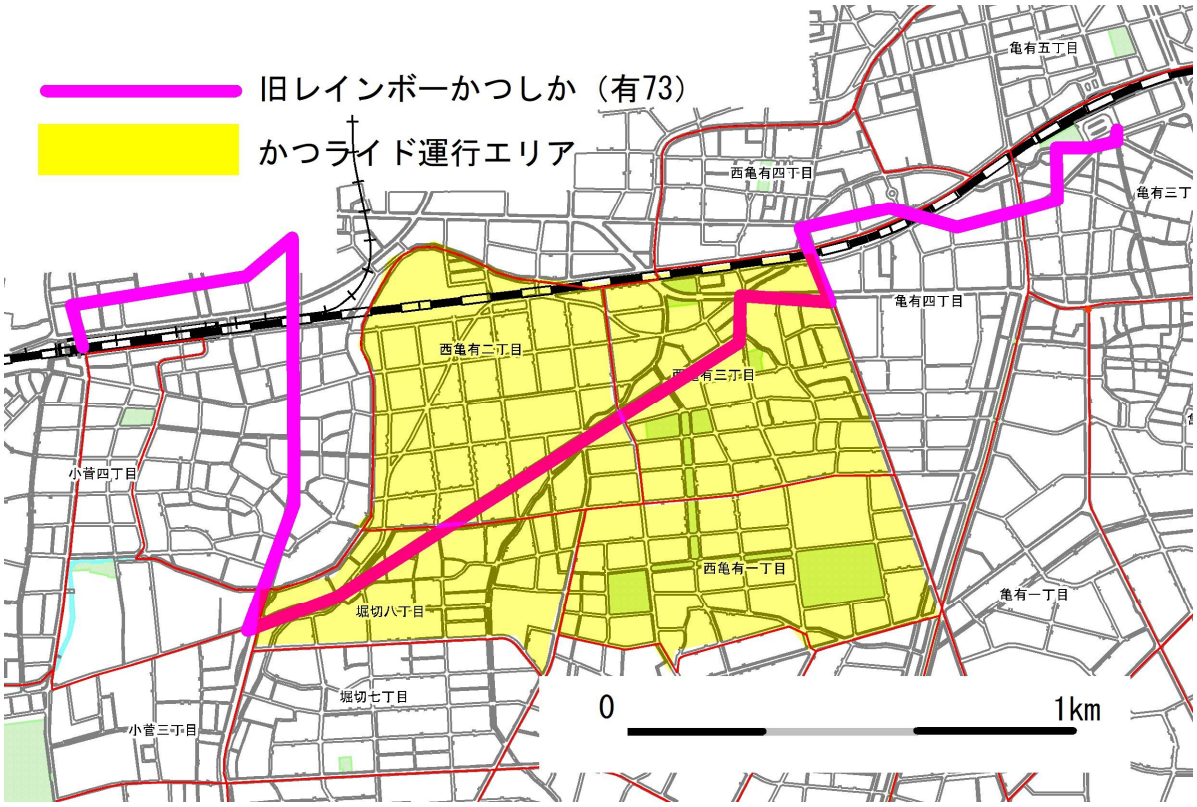
この度、実証運行開始から１年が経過したことから、これまでの利用状況や利用者アンケート等を踏まえた中間評価及び６月１日から実施した運行実施計画の見直しに関する評価を取りまとめた。

また、本格運行に向けた最終評価を実施するため、９月中旬から住民アンケート調査を開始しており、今後、その結果を踏まえて本格運行についての最終評価を行っていく。

２　運行概要

事業呼称	かつライド
実証運行期間	令和７年10月１日から令和９年３月31日まで
運行方式	対象地区内の自宅と対象施設間の移動
対象地区	西亀有一、二、三丁目、堀切八丁目
利用対象者	どなたでも（登録不要）
対象施設	29箇所（医療施設、商業施設、公共施設、鉄道駅、バス停）
運行日	月～土曜日（祝日を除く）
受付時間	８時から１８時まで
利用負担額	500円／１回
運行事業者	東京無線協同組合、東都タクシー無線協同組合
運行車両	通常営業中のタクシー車両
区の支援	迎車料金と運賃の合計額から利用負担額（500円）を 差し引いた額を負担（Ｒ７負担金決算額 1,961,999円）
運行エリア	次ページのとおり

＜かつライドエリア図＞



３　運行実施計画の見直し

令和７年12月に実施した住民アンケート調査の結果を踏まえ、令和８年６月１日付で運行実施計画の見直しを行った。

見直し内容

〇対象施設の追加　３箇所

（下千葉診療所、あやせ慶友整形外科、葛飾リハビリテーション病院）

※追加した施設は資料１「かつライド対象施設マップ」のとおり

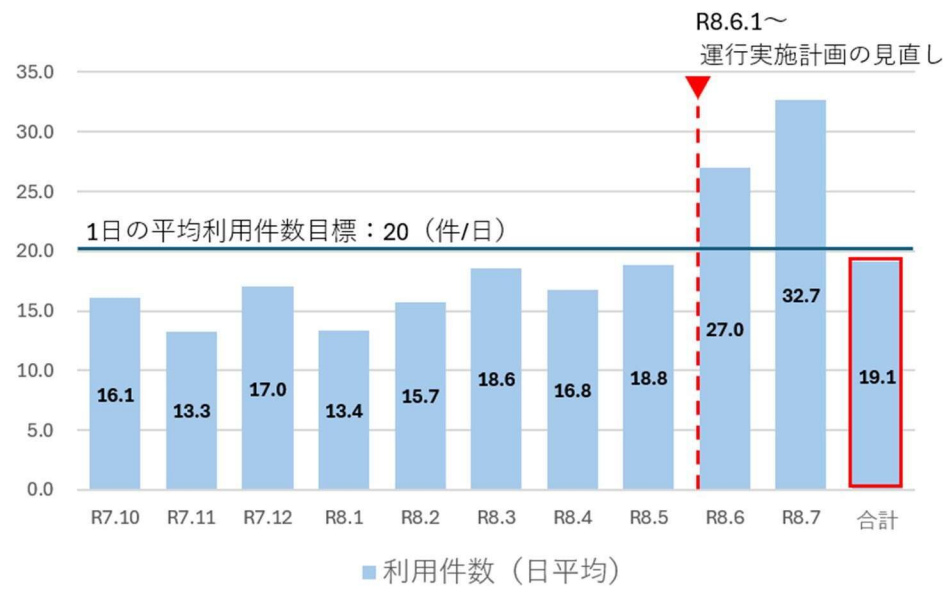
〇受付時間の変更　８時から18時

（見直し前の受付時間　９時から17時）

４－１　実証運行の中間評価

以下の指標１～５により、実証運行の中間評価を実施する。現時点では、５つの指標の内、指標１を除いた４つの指標が目標に達している状況である。

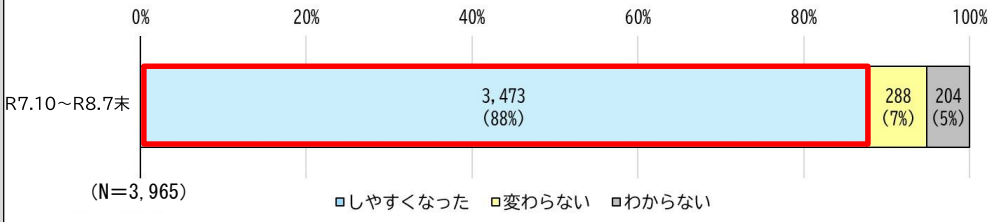
指　標１　１日の平均利用件数が20件以上あること。

結果	1日の平均利用件数が19.1件	中間評価	未達成
内容	 令和８年７月末時点の１日の平均利用件数：19.1件		
今後の方向性	運行実施計画の見直し後、利用者数は増加傾向にあり、目標件数に近づきつつある。今後も継続的に利用状況を注視していく。		

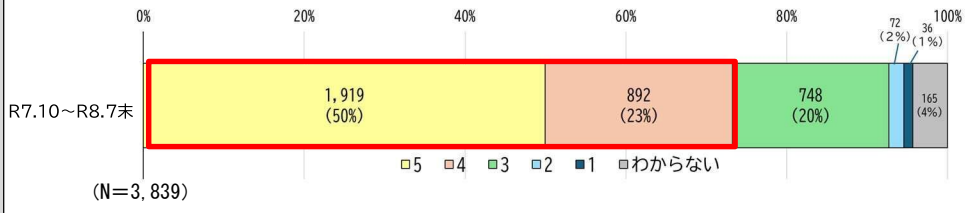
指　標２　周辺の路線バスに与える影響が小さいこと。

結果	路線バスに与える影響は小さい	中間評価	達成
内容	・「かつライド」対象地区周辺のバス路線（綾01、有01、有57、新小51系統）において、実証運行前後で利用者数の比較をしたところ、大きな差異は見られなかった。 ・８月にバス事業者（京成バス東京）へのヒアリングを実施し、今後の「かつライド」の実証運行継続について、同意を得ている。		
今後の方向性	・引き続き、対象地区周辺のバス路線の利用状況をモニタリングし、影響について分析を行っていく。 ・バス事業者と継続的に情報共有を行い、適宜ヒアリング等を実施していく。		

指　標３　利用者の移動利便性が向上していること。

結果	利用者の移動利便性が向上している。	中間評価	達成
内容	 ・利用者アンケートより、「かつライドによって外出しやすくなった」と回答した方が88% ・前回（令和８年３月地域交通政策特別委員会時）の中間評価では、同割合は85%であった。		
今後の方向性	引き続き、回答の推移を確認していく。		

指　標４　利用者の総合的な満足度が高いと判断されること。

結果	利用者の総合的な満足度が高い。	中間評価	達成
内容	 ・利用者アンケートより、満足度が高い「５」及び「４」と回答した方が73%（５点満点の採点方式） ・前回（令和８年３月地域交通政策特別委員会時）の中間評価では、同割合は69%であった。		
今後の方向性	引き続き、回答の推移を確認していく。		

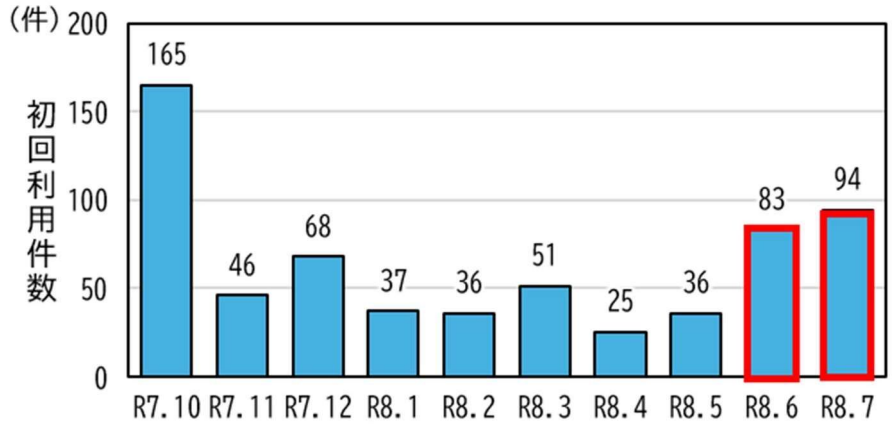
指　標５　１つ以上のタクシーグループの協力があること。

結果	運行事業者２社の継続意向を確認	中間評価	達成
内容	・「かつライド」利用者への対応は配車センター及びドライバーともに円滑に実施できている。 ・通常業務と作業内容は大きく変わらず、負担はかかっていない。 ・８月にタクシー事業者（東京無線協同組合、東都タクシー無線協同組合）へのヒアリングを実施し、「かつライド」の運行事業者として、継続意向を示している。		
今後の方向性	次回の最終評価においても、タクシーグループの継続意向をあらためて確認していく。		

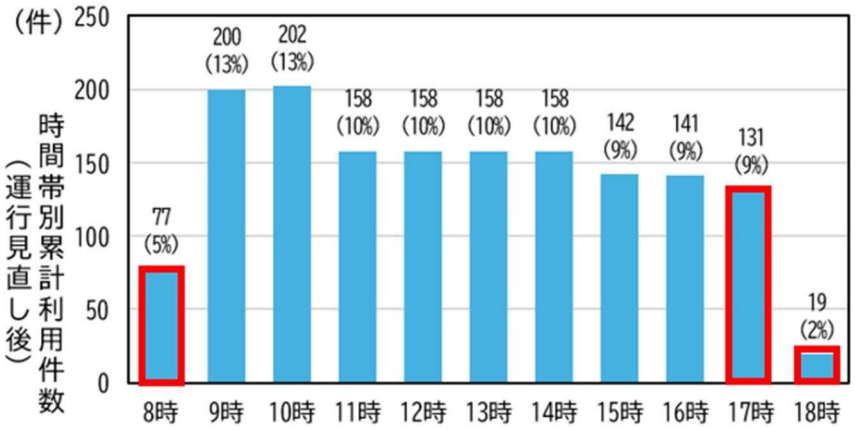
４－２　運行実施計画の見直し後の評価

■利用実績

利用回数:「初めての利用」と回答した数(月次推移)



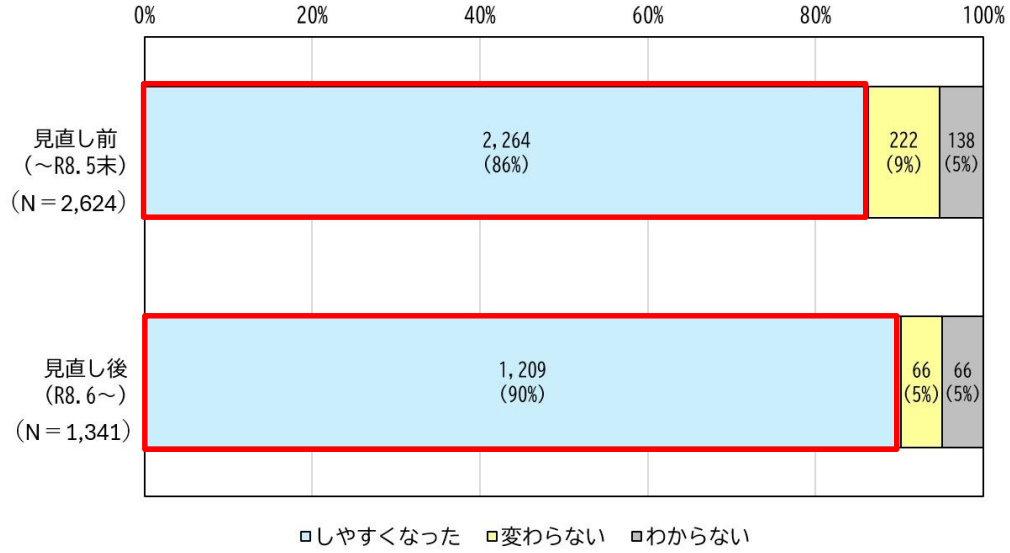
時間帯別利用件数(見直し後:R8.6～R8.7月末時点の累計)



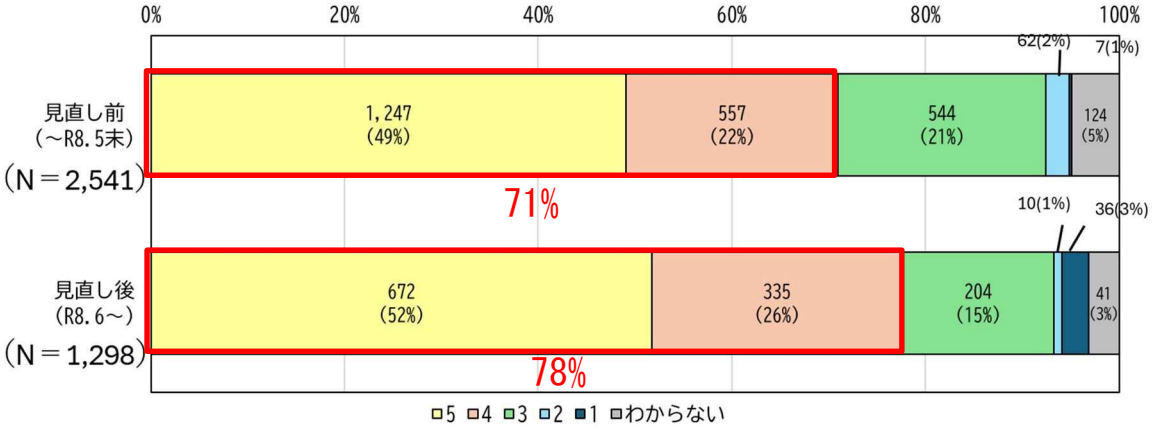
・６月・７月は、「初めて利用した」と回答した件数が増加しており、新規利用者の増加が見られる。
⇒運行実施計画の見直しに伴い、リーフレット等の全戸配布、自治町会回覧、SNS等による周知が利用促進に一定の効果を上げているものと考えられる。
・追加した対象施設への利用があること（Ｐ９参照）に加え、朝８時台及び夕方17時以降の利用が全体の約16%を占めていることも見られる
⇒対象施設の追加及び受付時間の拡大が利用拡大に寄与しているものと考えられる。

■利用者アンケート結果

外出のしやすさ



「かつライド」の総合満足度



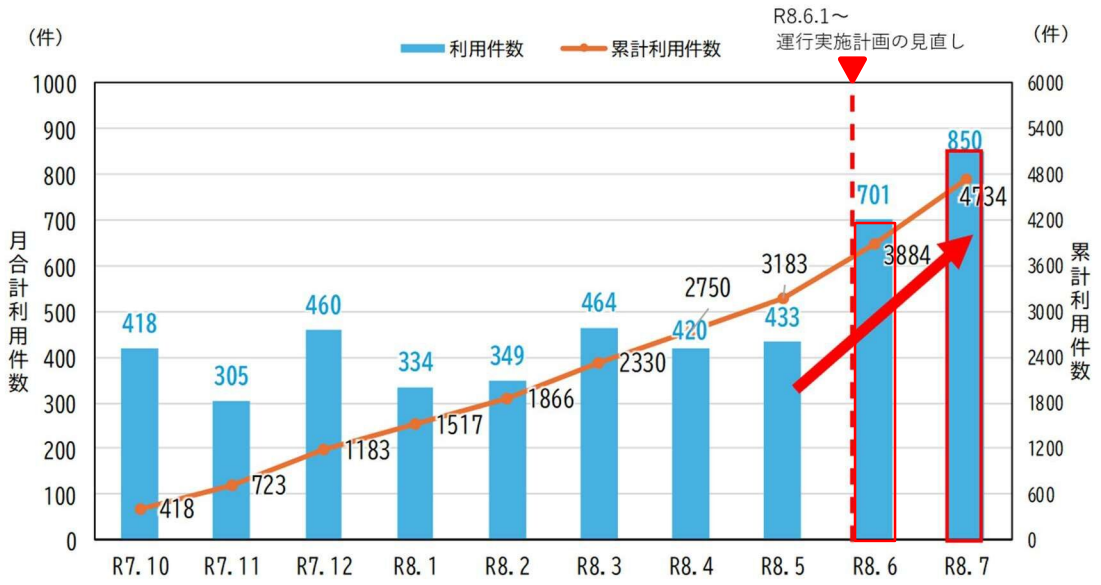
・外出のしやすさについて、「しやすくなった」と回答した割合は、見直し前の86%から見直し後は90%となり、約４ポイント向上している。
・「かつライド」の総合満足度について、「５」又は「４」と回答した割合は、見直し前の71%から見直し後は78%となり、約７ポイント向上している。

・６月に実施した運行実施計画の見直しについては、利用拡大に寄与しているほか、利用者アンケートにおいても外出のしやすさ及び満足度の向上が確認されていることから、一定の効果があったものと考えられる。
・一方で、６月・７月の利用件数は目標件数を上回る状況となっていることから、今後は、区負担額の増加状況と、日常生活に不可欠な移動ニーズへの対応とのバランスに留意しながら、利用状況を注視していく必要がある。

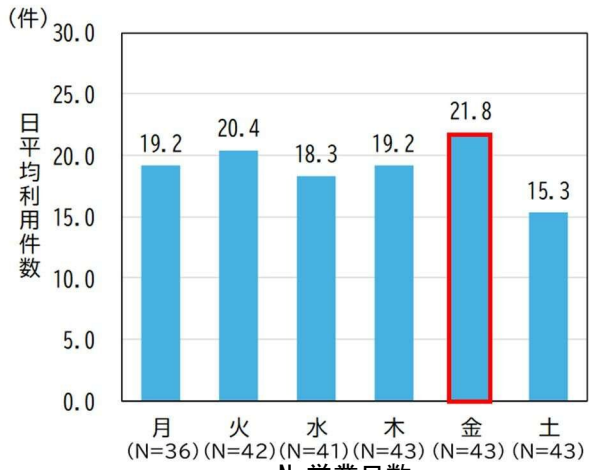
５　利用状況（令和８年７月末時点）

■利用件数

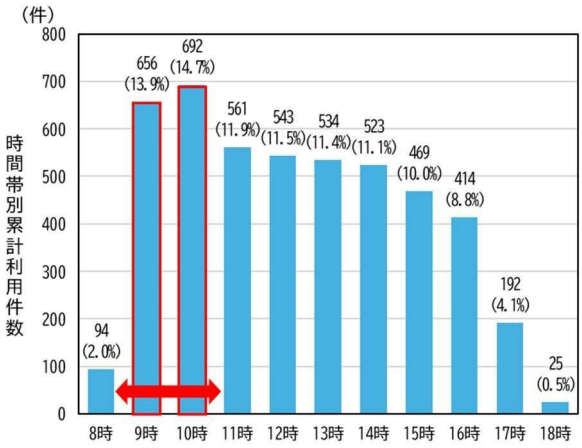
月別・累計



曜日別



時間帯別



・利用件数は月ごとに増減があるものの、運行実施計画の見直し後である６月以降、比較的多くなっている。

⇒６月及び７月は雨天日が多く、雨天時はタクシーの利用件数が比較的多い傾向にあることから、その影響があるものと考えられる。

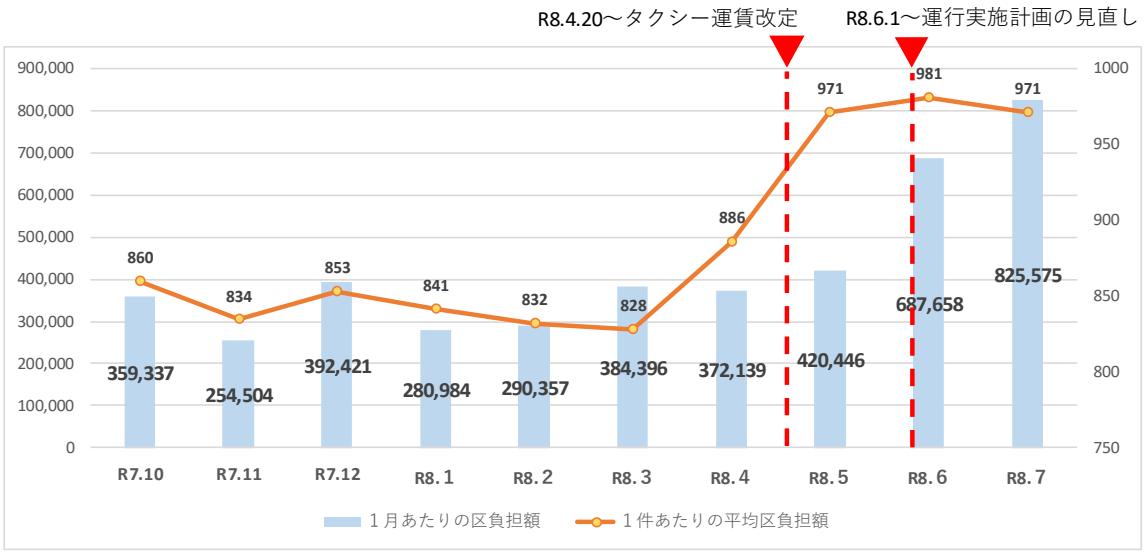
・曜日別では、金曜日の利用が比較的多くなっている。

⇒他の曜日と比べて、亀有駅や綾瀬駅などの鉄道駅への移動に加え、アリオ亀有などへの週末に向けた買い物需要が影響しているものと考えられる。

・時間帯別では、午前中（９時台～10時台）の利用が比較的多くなっている。

⇒９時台～10時台は、自宅から施設へ向かう利用が特に多く、鉄道駅への移動のほか、亀有病院や東部地域病院などへの通院需要が高い傾向にある。

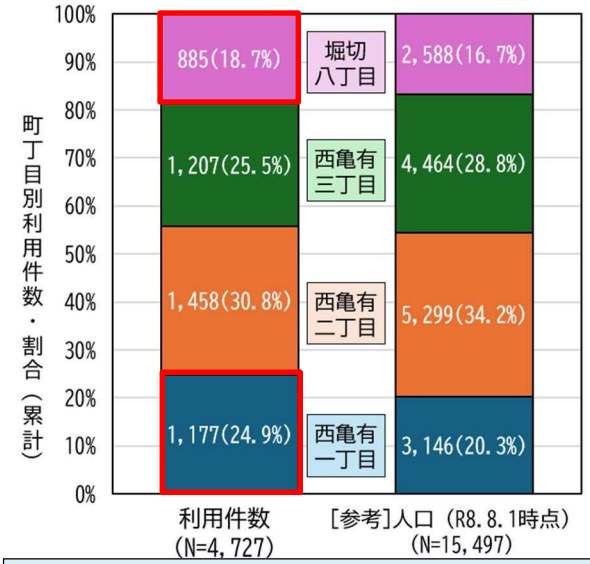
■区負担額



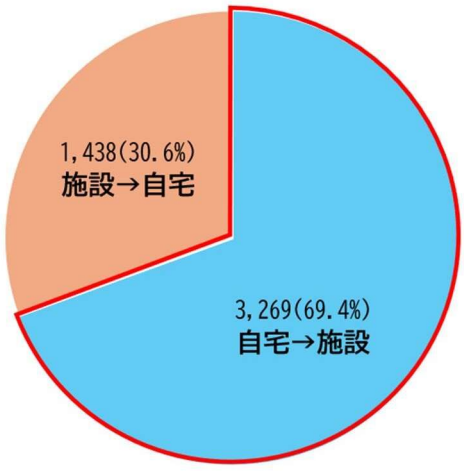
令和８年５月以降、利用１件あたりの平均区負担額は約970円となっており、増加傾向が見られる。
⇒主な要因として、令和８年４月20日に実施されたタクシー運賃改定に伴い、１件あたりの区負担額が増加したことが考えられる。

■居住地域・行先方向

町丁目別の利用件数（累計）



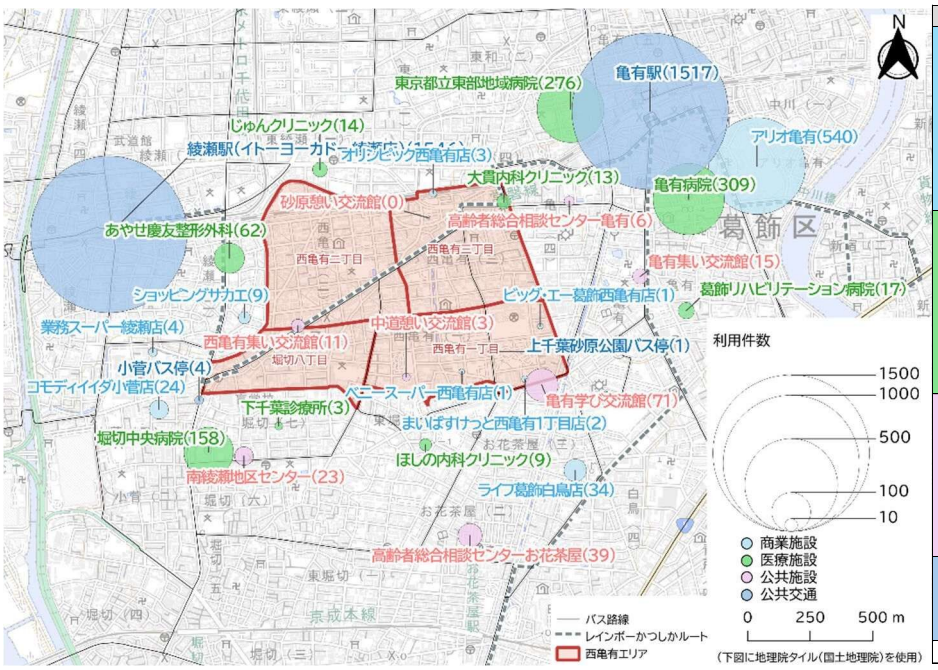
利用方向別件数（累計）



N=4,707

・西亀有一丁目及び堀切八丁目では、人口分布と比較して、利用密度が比較的高い。
⇒他のエリアと比べて、亀有駅や綾瀬駅からの距離が遠いことから、駅への移動手段としての利用が多くなっているものと考えられる。
・自宅側から施設側に向かって利用する方が多く69%を占める。施設側には特定の乗り場がないことや、駅ロータリー等に停車しているタクシーも利用可能なため、施設側→自宅側方向の利用が少ないと想定される。

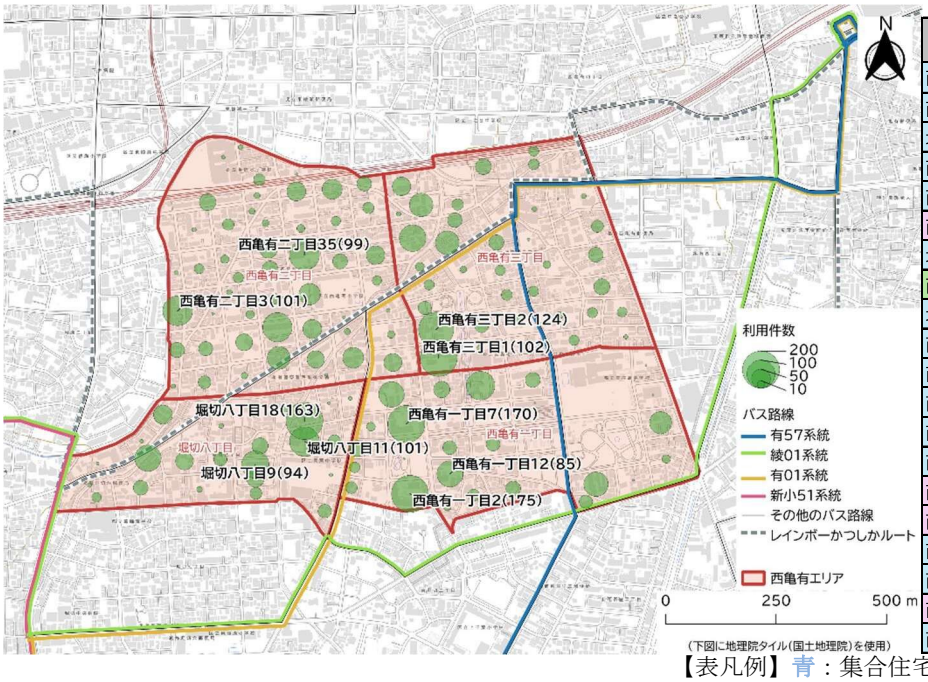
■利用されている対象施設



		施設側スポット	利用件数
商業施設	1	アリオ亀有	540
	2	コモディイイダ小菅店	24
	3	ライフ葛飾白鳥店	34
	4	ベニースーパー西亀有店	1
	5	ショッピングサカエ	9
	6	オリンピック西亀有店	3
	7	まいばすけっと西亀有1丁目店	2
	8	ビッグ・エー葛飾西亀有店	1
	9	業務スーパー綾瀬店	4
医療施設	10	亀有病院	309
	11	堀切中央病院	158
	12	東京都立東部地域病院	276
		大貫内科クリニック	13
	13	ほしの内科クリニック	9
	14	じゅんクリニック	14
	15	下千葉診療所 ☆	3
	16	あやせ慶友整形外科 ☆	62
	17	葛飾リハビリテーション病院 ☆	17
公共施設	18	南綾瀬地区センター	23
	19	高齢者総合相談センターお花茶屋	39
	20	高齢者総合相談センター亀有	6
	21	亀有学び交流館	71
	22	中道憩い交流館	3
	23	砂原憩い交流館	0
	24	西亀有集い交流館	11
	25	亀有集い交流館	15
公共交通	26	亀有駅	1,517
	27	綾瀬駅	1,546
	28	小菅バス停	4
	29	上千葉砂原公園バス停	1
		合計	4,715

・綾瀬駅・亀有駅が、それぞれ全体の30%強を占め、特に多くなっている。
・商業施設ではアリオ亀有、医療施設では亀有病院や東京都立東部地域病院、堀切中央病院への利用が多い。
・令和８年６月に追加された医療施設では、あやせ慶友整形外科で62件の利用があるほか、葛飾リハビリテーション病院17件、下千葉診療所３件の利用がみられる。

■街区別利用件数



住所	利用件数
西亀有一丁目-2	175
西亀有一丁目-7	170
堀切八丁目-18	163
西亀有三丁目-2	124
西亀有三丁目-1	102
西亀有二丁目-3	101
堀切八丁目-11	101
西亀有二丁目-35	99
堀切八丁目-9	94
西亀有一丁目-12	85
西亀有二丁目-28	76
西亀有一丁目-25	69
西亀有三丁目-8	55
西亀有一丁目-8	55
西亀有三丁目-14	53
西亀有三丁目-6	52
西亀有一丁目-19	51
西亀有一丁目-31	46
西亀有二丁目-29	43
西亀有二丁目-34	40

【表凡例】青：集合住宅　ピンク：戸建て　緑：その他

・利用者は広範囲、低密度に分布していることがわかる。利用件数が集中している箇所は主に集合住宅が位置しており、一人当たりの利用頻度は多くないと推測される。
・有57系統（図中の青線）が運行している地域では比較的利用が少ない。

６　今後のスケジュール

令和８年　10月　住民アンケートの分析

　　地域交通政策推進特別委員会（中間評価（２回目）について）

　　葛飾区地域公共交通活性化協議会

　　12月　地域交通政策推進特別委員会（最終評価について）

令和９年　２月　葛飾区地域公共交通活性化協議会

かつライド 対象施設マップ

かつライドは対象地区のご**自宅**と**対象施設の間**でご利用できる公共交通サービスです。



01 アリオ亀有★
葛飾区亀有3-49-3



02 コモディイイダ 小菅店★
葛飾区小菅3-11-7



03 ライフ 葛飾白鳥店★
葛飾区白鳥3-27-8



04 ベニースーパー 西亀有店★
葛飾区西亀有1-16-7



05 ショッピング サカエ★
足立区綾瀬2-39-11



06 オリンピック 西亀有店★
葛飾区西亀有3-11-1



07 まいばすけっと 西亀有1丁目店★
葛飾区西亀有1-26-18



10 亀有病院★
葛飾区亀有3-36-3



11 堀切中央病院★
葛飾区堀切7-4-4



12 東京都立 東部地域病院★
葛飾区亀有5-14-1



18 南綾瀬 地区センター★
葛飾区堀切7-8-22



19 高齢者総合相談 センターお花茶屋★
葛飾区お花茶屋2-4-23



20 高齢者総合相談 センター亀有★
葛飾区亀有4-31-18



21 亀有学び交流館★
葛飾区お花茶屋3-5-6



08 ビッグ・エー 葛飾西亀有店★
葛飾区西亀有1-30-14



6月1日から追加
さらに
便利になります！

13 ほしの内科 クリニック★
葛飾区東堀切3-19-8



14 じゅんクリニック★
足立区東綾瀬1-10-8



22 中道憩い交流館★
葛飾区西亀有1-2-7



23 砂原憩い交流館★
葛飾区西亀有3-12-1



24 西亀有集い 交流館★
葛飾区西亀有2-11-1



25 亀有集い交流館★
葛飾区亀有1-24-3



09 業務スーパー 綾瀬店★※
葛飾区小菅4-21-11



※スタッフにお声掛けください

15 下千葉診療所★
葛飾区堀切7-13-24



16 あやせ慶友 整形外科★
足立区綾瀬2-33-2



17 葛飾リハビリ テーション病院★
葛飾区亀有2-18-27



26 亀有駅★
葛飾区亀有3



27 綾瀬駅★※
足立区綾瀬3-1-1



※イトーヨーカドー綾瀬店にて設置されています。

28 小菅バス停
葛飾区小菅3-19



29 上千葉砂原公園 バス停
葛飾区西亀有1-22



3施設追加

かつライド 使い方

1 かつライド利用申込書（別途配布）に必要事項を記入。

「自宅側スポット」
「施設側スポット」
「行先方向」に
✓を入れてください。

2 乗車するスポットにタクシーを呼ぶ。（電話かアプリ※）

※電話番号とアプリの二次元コードは裏面をご覧ください

3 タクシーを呼んだスポットで待ってタクシーに乗車。

車の**ドア番号を確認**し、運転手にご自身の名前をお伝え頂き、タクシーに乗ってください。

4 乗車時に利用申込書、到着後に500円※を運転手に渡す。

※東京無線：現金のみ
東都タクシー：現金・キャッシュレス決済

- 「Go」及び「S.RIDE」アプリをご利用の際には、**必ず「東都タクシー」**または**「東京無線」を指定**の上、決済方法は**「車内決済」「車内支払」**を選択してください。
- 迎車以外（**流し・駅待ち**）でのご利用は**利用対象外**です。
- **日付指定予約**でのご利用は**利用対象外**です。

庶務報告Ｎｏ．２
都　市　整　備　部
令和８年１０月２日

新金線を活用した新たな交通システムの整備における検討状況について

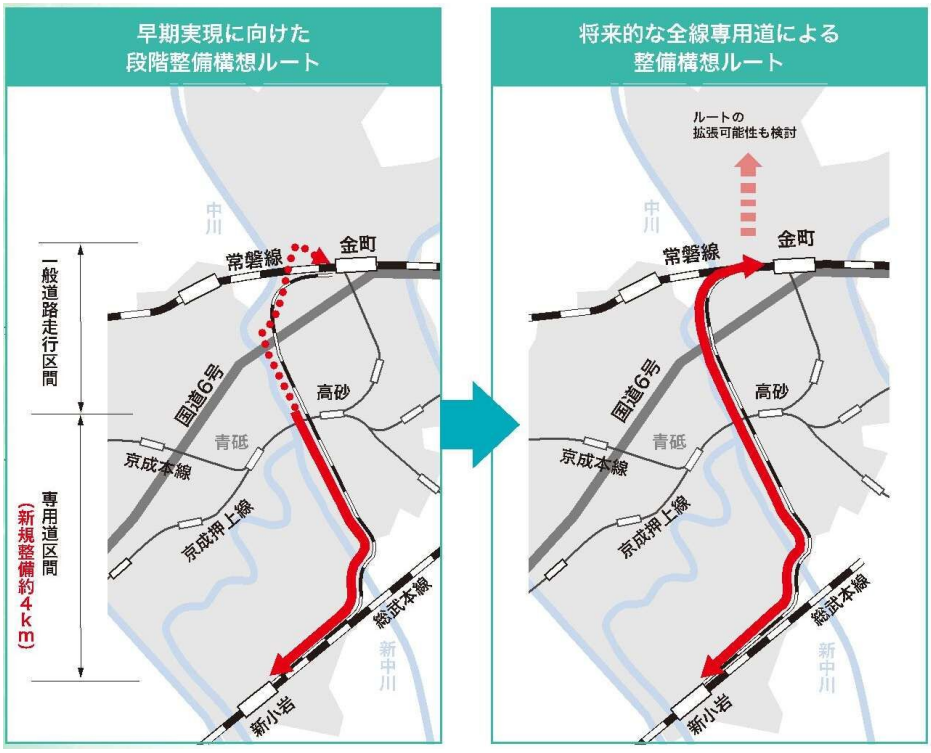
新交通推進担当課

１　概要

新金線を活用した新たな交通システムの整備については、令和８年１月に策定した「新金線を活用した新たな交通システム整備構想」に基づき、走行空間や駅等の施設計画、運行計画などの具体的な方向性を整理する事業化計画の策定を進めている。

この事業化計画の策定にあたっては、新交通事業化計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）及び新交通事業化計画策定幹事会（以下「幹事会」という。）を設置し検討を進めることについて、令和８年６月の地域交通政策推進特別委員会において報告したところである。

今般、策定委員会及び幹事会を開催し、事業化計画策定に向けた検討を開始した。併せて、各関係機関との協議・調整を進めている。



参考：整備構想ルート

２　策定委員会・幹事会

（１）委員及びオブザーバー

ア　策定委員会

【　委　員　】

日本大学理工学部長・交通システム工学科教授　　轟　朝幸

日本大学理工学部　土木工学科教授　　金子　雄一郎

東日本旅客鉄道株式会社　TOD企画部ユニット長

東日本旅客鉄道株式会社　上野事業本部総務部企画部長

日本貨物鉄道株式会社　関東支社総務部長

京成電鉄株式会社　経営統括部長

葛飾区副区長

【オブザーバー】

国土交通省　関東運輸局交通政策部交通企画課長

国土交通省　関東地方整備局道路部道路計画第一課長

東京都　都市整備局交通政策担当部長

江戸川区　都市開発部長

イ　幹事会

【　委　員　】

日本大学理工学部　土木工学科教授　　金子　雄一郎

元芝浦工業大学　講師　　伊東　誠

東日本旅客鉄道株式会社　TOD企画部マネージャー

東日本旅客鉄道株式会社　上野事業本部総務部マネージャー

日本貨物鉄道株式会社　関東支社総務部企画室長

京成電鉄株式会社　経営統括部経営企画・IR担当課長

京成電鉄株式会社　グループ戦略部交通サービス担当課長

京成電鉄株式会社　計画管理部鉄道企画担当課長

葛飾区　政策経営部長

葛飾区　都市整備部長

葛飾区　交通政策担当部長

【オブザーバー】

国土交通省　関東運輸局交通政策部交通企画課課長補佐

国土交通省　関東地方整備局道路部道路計画第一課課長補佐

東京都　都市整備局都市基盤部自動車政策担当課長

江戸川区　都市開発部まちづくり調整課長

（２）主な検討内容

令和８年７月27日に第１回策定委員会、令和８年９月１日に第１回幹事会を開催し、これまでの検討経緯や整備方針のほか、葛飾区の交通の現状等について共通理解を図った。また、事業化計画の策定に向けて必要となる検討事項やこれまでの検討状況について意見交換を行った。

具体的検討事項は資料１のとおり

（３）主な意見

・本事業には多くの課題があるが、今後50年、60年先を見据えた交通基盤として検討を進める必要がある。
・新たな交通システムの導入は交通利便性の向上だけでなく、地域全体の価値向上につながる重要なプロジェクトである。
・新交通は普通のバスが走るものではなく、定時性のほか、機能面やデザイン面でもLRTに近いものを整備していく方針であると認識するべきである。
・過年度の検討成果をベースに事業費や需要予測等を改めて精査していく必要がある。
・既存バス路線との役割や位置付けの整理が重要である。
・沿線住民や地域関係者への丁寧な説明と理解醸成が求められる。
・整備構想に掲げた理想像を踏まえつつ、費用や技術面の制約も考慮しながら実現可能な計画へ落とし込んでいく必要がある。

（４）今後の予定

資料２のとおり

３　関係機関協議等の実施状況

関係機関	協議事項	整備構想策定後の実施状況
ＪＲ東日本 ＪＲ貨物	専用道区間の道路線形・構造、橋梁部の線形・構造、平面交差部の交通処理　等	新金線用地内鉄道施設調査を実施中
警視庁	専用道区間における走行空間の専用化の方法、専用道区間の構造、平面交差部の交通処理　等	実施回数：４回
東京都建設局	新中川の橋梁線形・橋梁構造、 架道橋の構造　等	実施回数：５回
東京都都市整備局	専用道区間の都市計画　等	実施回数：１回
その他	都営バス自動運転実証実験（レベル２）の実査	

具体的検討事項

資料１

大項目	中項目	具体的検討事項
施設計画	法制度上の位置付け	専用道区間における走行空間の法的位置付け、走行空間の専用道化の方法、運行事業の法的位置付けを整理する
	事業区間・ルート・駅配置	専用道区間と一般道区間を合わせた全体の道路線形や橋梁線形、公共交通としての在り方や用地状況を踏まえた駅配置の考え方を整理する
	専用道区間の構造	定時性・速達性の確保に向けた複線区間及び行違い施設の設置箇所、鉄道施設の移設等を踏まえた道路設計に係る検討を行う 並走する貨物線や隣接する道路及び宅地との安全対策等について検討する
	橋梁部の構造	新中川への架橋方法や架道橋の架橋方法について検討する
	駅施設の構造	誰もが安全に利用しやすい駅施設に向けて、必要な機能や構造等について検討する
	専用道区間における平面交差部の交通処理	交通管理上必要となる安全性・円滑性及び新交通の定時性・速達性を確保した交通処理方法等について検討する
	一般道区間の施設計画	新交通の車両軌跡を踏まえ、既存の一般道路構造への影響と対応方針について検討する

具体的検討事項

大項目	中項目	具体的検討事項
車両計画	車両に求める仕様	基幹交通としての輸送力を備え、まちのシンボルとなるような車両導入に向けて、必要な仕様等を検討する 自動運転やクリーンエネルギー等の技術要素の適用可能性について整理する
	車両の調達方法	求める仕様を満たす車両を調達するにあたり想定される調達工程等を整理する
	車両の運用方法	点検や整備など車両を運用するにあたり必要な設備や施設等を整理する

大項目	中項目	具体的検討事項
運行計画	運行サービス水準	運行時間帯や本数、ダイヤ、利用者向けシステムに導入する機能など、基幹交通として満たすべきサービス水準等について検討する
	運行管理方法	単線部の多い専用道区間における行き違い管理など、安全・円滑な運行を実現させるための運行管理システムについて検討する
	運賃設定の考え方及び運賃収受方法	周辺公共交通の運賃等を踏まえ、運賃設定の考え方を整理していくとともに、定時性・速達性確保の観点から、円滑な乗降の実現に向けた運賃収受の方法について検討する

具体的検討事項

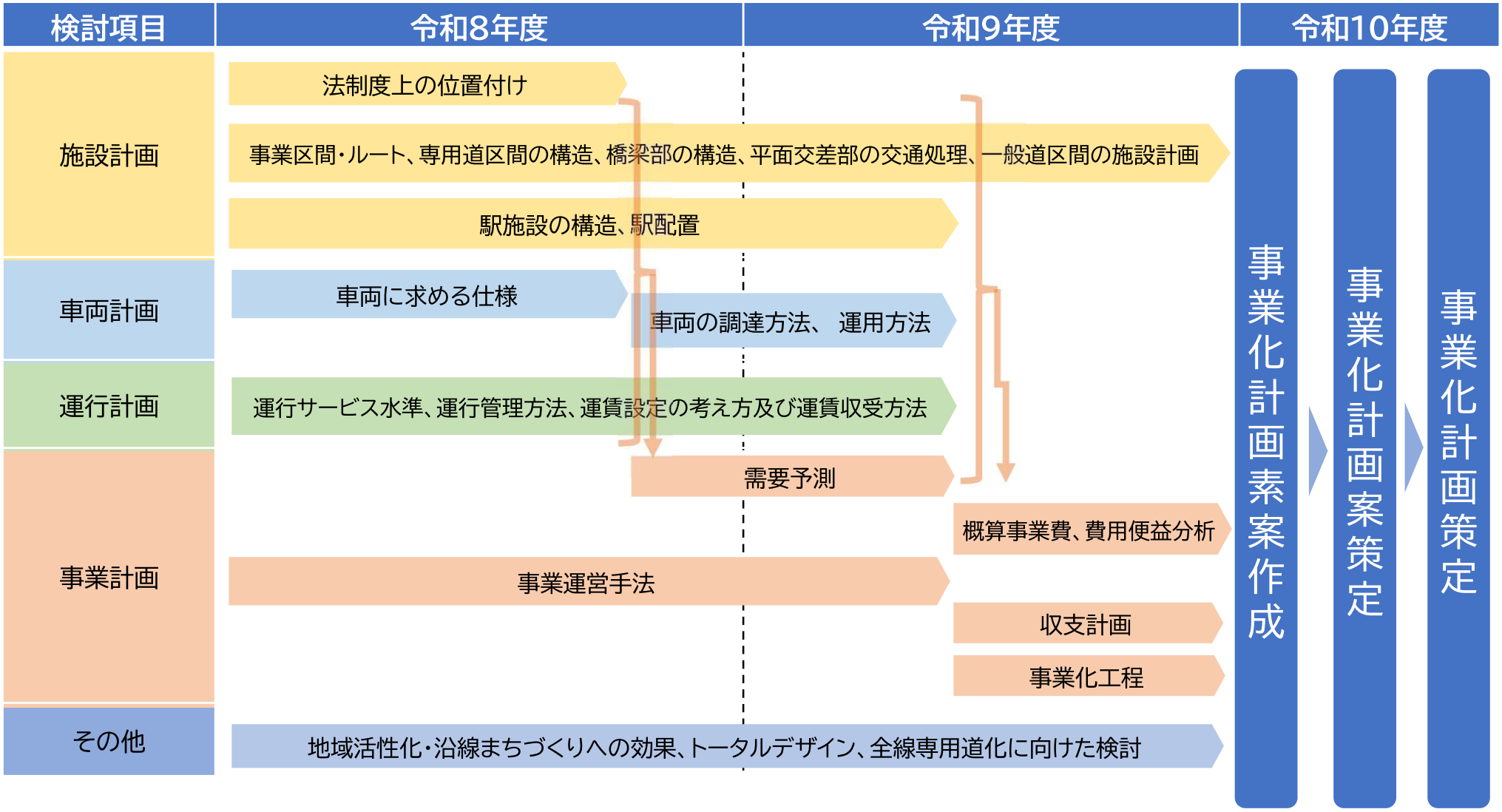
大項目	中項目	具体的検討事項
事業計画	需要予測	施設計画や運行計画等の検討を踏まえ、需要予測を実施する
	概算事業費	施設計画や運行計画等の検討を踏まえ、概算事業費を算出する
	費用便益分析	需要予測や概算事業費の算出結果等を踏まえ、費用便益分析を実施する
	事業運営手法	公設型上下分離方式を前提に事業スキームを比較検討するとともに、事業スキームに応じて活用可能な補助制度を整理する
	収支計画	需要予測や事業運営手法の検討等を踏まえ、想定される収入・支出を整理する
	事業化工程	施設計画をはじめとする各項目の検討を踏まえ、段階整備による開通までに必要な工程を整理する

具体的検討事項

大項目	中項目	具体的検討事項
事業に合わせて必要となる取組や全線専用道化に向けた考え方	地域活性化・沿線まちづくりへの効果	交通利便性の向上にとどまらず、沿線への住宅や商業施設等の建設の誘発、それに伴う人口流入など、新交通が開通することでまちに与える効果を整理する
	トータルデザイン	まちの新たなシンボルとなる交通機関に向けて、車両や駅施設といったトータルデザインの対象物や導入方法について検討する
	将来的な全線専用道化に向けた課題解決策の検討	将来的な全線専用道化に向けて、金町駅付近への接続や国道６号との交差等の課題と今後の対応についての考え方を整理する

今後の予定

資料２


検討項目
令和8年度
令和9年度
令和10年度
施設計画
車両計画
運行計画
事業計画
その他
法制度上の位置付け
事業区間・ルート、専用道区間の構造、橋梁部の構造、平面交差部の交通処理、一般道区間の施設計画
駅施設の構造、駅配置
車両に求める仕様
車両の調達方法、 運用方法
運行サービス水準、運行管理方法、運賃設定の考え方及び運賃収受方法
需要予測
概算事業費、費用便益分析
事業運営手法
収支計画
事業化工程
地域活性化・沿線まちづくりへの効果、トータルデザイン、全線専用道化に向けた検討
事業化計画素案作成
事業化計画案策定
事業化計画策定